

タンザニアで 保健ボランティアといっしょに働く

小松 法子 さん(創価大学看護学部)

略歴: 神戸の市民病院で働いた後、青年海外協力隊に参加(タンザニア)

県立病院内の母子保健クリニックで看護師として現地のスタッフや保健ボランティアと共に母子保健活動を行った。

帰国後は大学院に進学し、タンザニアの母子保健における父親の役割について研究。

大学院終了後は、現職。

タンザニアの保健ボランティア



<活動場所>

Lindi州Nachingwea県

Dar es Salaamから約600km(バスで12時間程度)



診療所



Nachingwea県立病院

タンザニアの保健ボランティア

- 母子保健クリニックや診療所のスタッフと共に妊婦検診や乳幼児健診、健康教育等を行っていた。
- 県立病院で活動する保健ボランティアはNGOがサポートしている様子だったが、診療所で活動するボランティアは近所の人たちが手伝いに来てくれていた。
- 来院するママたちの話をよく聞いて相談にのっていた。
- 医療スタッフがいない地域では、県立病院のスタッフと連携して地域の人々のために働いていた。
(アウトリーチのサポートなど)

